TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

成長する教会に不可欠なこと（パート 6）　神への賛美 礼拝

使徒言行録 2:42-47

2025 年 4 月 5 日 & 6 日

神永　譲（ジョエル）牧師

TBC 渋谷キャンパスにおられる皆さん、そしてスバ・バプテスト教会、トンガ・バプテスト教会、TBC 三郷、TBC ウェストトウキョウの兄弟姉妹、友人の皆さん、こんにちは。歌い、祈り、神の御言葉が語られるのを聞き、献げ、交わり、神を礼拝するために集まることが出来るのは素晴らしい喜びですね。

私の健康に関して

メッセージの前に、私の健康状態についてご報告させてください。私は 2023 年 9 月に脳腫瘍の手術を受けました。腫瘍は良性（がんではない）でした。それ以来、私は半年ごとに MRI 検査を受けています。最近では先月 3 月に行い、腫瘍の再発の兆候は見られませんでした。神様を賛美します。お祈りし続けてくださって本当にありがとうございます！そして、同じようなところを通っておられる教会員の仲間や家族のために祈り続けましょう。もし大きな病という試練に直面しておられる方がいたら、人生の今この時にあなたがそれを経験することを神が許しておられるには目的があることを覚え、神に信頼し続けましょうと励ましたいです。

祈りましょう！

メッセージシリーズの概要

昨年の 2 月から、使徒言行録 2 章 42 節から 47 節よりメッセージシリーズを始める機会に恵まれ、これまで 5 回にわたって語ることが出来ました。簡単におさらいしますと、聖霊が与えられ、その力ある働きをみました。また使徒言行録 2 章 37-41 節から、福音のメッセージの宣教、悔い改めとバプテスマによって最初の教会が設立されたことを学びました。しかし、その最初の教会のクリスチャンやメンバーは、新しい人々に御言葉を伝え、バプテスマを授けただけでなく、教会にとって不可欠な事柄を心から一生懸命行っていました。それは続く 42-47 節に書いてあります。「42 そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂き、祈りをしていた。43 すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業としるしが行われていたのである。44 信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、45 財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。46 そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にし、47 神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。」（使徒言行録 2:42-47）

最初のクリスチャン達が心を込めて一生懸命行っていた 7 つの不可欠なことがあります。これまで私達は、その内の最初の 5 つを見てきました。「使徒の教え」、「交り」、「パンを裂くこと」、「祈り」、そして「献げること」または「互いに仕え合うこと」です。このメッセージでは、「神を賛美すること」すなわち「礼拝 」に焦点を当てます。これは成長する教会に不可欠な 6 番目のことです。もし主の御心ならば、2、3 ヶ月後に、7 番目であり、最後ではあっても最小とは限らない、福音を伝えること、すなわち伝道について見ていきます。

今日は「賛美」と「礼拝」という言葉をほとんど同義語のような形で使っていきます。そしてほとんどの場合は後者の意味で使っています。

礼拝に関する 3 つの重要なポイント

今回のメッセージでは、礼拝に関する 3 つの重要なポイントをお話ししたいと思います。

- 礼拝の対象…私たちは誰を礼拝するのでしょうか。
- 礼拝の供え物…私たちは礼拝に何を携えていくのでしょうか。
- 礼拝の成果…礼拝の後、私たちは何が起こることを期待するでしょうか。

1. 礼拝の対象

私達が「礼拝の対象」と言う時、それは「誰への、そして誰のための」礼拝かを指しています。

「46 そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に集まり、家ではパンを裂き、喜びと真心をもって食事を共にし、47 神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。」（使徒言行録 2:46, 47a）

「賛美する」という言葉はギリシャ語で「αἰνοῦντες（アイヌンテス）」です。その意味は、「賛美する、誉め称える、神に栄光を帰して賛美を歌う 」です。

最初のクリスチャン達や教会のメンバーは確かに自分達が礼拝するのは神であるとわかっていて、その礼拝は全て神についてでした。賛美の対象は、使徒達でも、ユダヤ教でも、旧約聖書の預言者達でも、人でもなく、神でした。神だけが彼らの礼拝の対象でした。

最初の四つの戒め

十戒の最初の 4 つは、神だけを礼拝し、他の神々を礼拝しないことでした。「[3] あなたには、私をおいてほかに神々があってはならない。[4] あなたは自分のために彫像を造ってはならない。[7] あなたは、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。[8] 安息日を覚えなさい。」(出エジプト記 20:3, 4a, 7a, 8a)

イエスはこの 4 つの戒めを要約し、次のように言いました。「[37] イエスは言われた。「『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』[38] これが最も重要な第一の戒めである。」(マタイによる福音書 22:37, 38)

神への賛美の最高の表現は、神の似姿に創造され、恵みによって、イエスを信じる信仰によって救われた一人の人間として、誰かや、他の何ものでもなく、神だけを全身全霊で愛することです。

例: 彫像や像を取り除く

もう 25 年以上前、Y2K、2000 年問題があった頃、3 人の幼い子供達を連れて、シンシアと私は 2 ヶ月ほどフィリピンに戻りました。主が私達をこれからどこに導かれるのか、日本に滞在し続けるのかどうか、フルタイムのミニストリーの準備として私たちは次に何をするべきなのかを確認するために、勤めていた会社から休暇を取りました。TBC のメンバーになってしばらく経っていましたが、私はまだ牧師としては奉仕していませんでした。私達がフィリピンにいた時、やはり短い休暇で東京から戻っていた、クリスチャンになったばかりのキリストにある兄弟がいました。クリスマス・シーズンということもあり、TBC の他のフィリピン人メンバーも帰って来ていました。

その新しい兄弟は、主と共に歩み、成長していました。そして、ローマ・カトリックの信者として長年集めた彫像や像を処分する手伝いをしてほしいと私達をマニラの家によんでくれました。2 階建てのアパートは、大げさではなく、様々な大きさや形の像で一杯でした。中には等身大の物まであります。アパートに入ると、リビング、階段、廊下、寝室とまるで私たちを見つめているかのように像に囲まれていたのです。

地元の牧師を含めて、8-10 人位でアパートに行きました。祈ってこれからしようとしていることを主に委ね、それらの全てを袋に入れ、それから牧師がどこかに持っていき処分してくれました。

そのものすごい体験の後、家に帰る途中で私はとても具合が悪くなりました。汗が出て、腹痛がおきました。家に帰れるか不安でしたが、神の恵みにより家族で滞在していた義父母の家に辿り着くことが出来ました。

私達がキリストに従う者となる時、他の誰でもなく、神だけを礼拝するように召されています。今、あなたの人生には、神の代わりになっているものがありますか。ご自身の礼拝の真の対象は神様でしょうか。それとも、取り除かれ、処分されるべき他の何かがあるでしょうか。

2. 礼拝の供え物

使徒言行録 2 章の中ほどで、ペトロは 14 節から 36 節までの中でわずか 23 節という、5 分ほどで語れるような短い説教をしています。その説教は次の言葉で締めくくられます。「だから、イスラエルの家はみな、はっきりと知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」(使徒言行録 2:36)

人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロと他の使徒たちに、「兄弟たち、私たちは何をすべきでしょうか」と言った。(使徒言行録 2:37)

そこで、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼(バプテスマ)を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるでしょう。(使徒言行録 2:38)

ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼(バプテスマ)を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。(使徒言行録 2:41)

そして、今日の御言葉の使徒言行録 2:42-47 がきます。今日の聖書箇所で、最初のクリスチャン達が教会の成長に不可欠なことを心を込めて一生懸命していたことが、主への礼拝の献げ物の表現であると私は思います。彼らは「喜んで御言葉を受け入れ」(英語聖書の訳より)、神のために完全に身を献げるようになりました。イエスが主であり救い主であるという信仰に動機づけられ、イエスが自分のために死んでくださったと信じ、自分の罪を悔い改め、キリストにある新しい神の民としてバプテスマを受けています。

礼拝のいけにえの供え物の最初の行為

聖書に記録されている最初の礼拝は、創世記の第 4 章にあります。最初の男と最初の女、アダムとエバが堕落する前の状態の時に神を礼拝したのは間違いないと思います。しかし、そのことは聖書には書かれていません。聖書に書いてあるのは、カインとアベルという 2 人の兄弟の礼拝です。

牧師であり神学者であった故R.C.スプロール氏は、その著書で『How Then Shall We Worship?』(では私達はどのように礼拝すればよいのか)の中で、この礼拝について書いています。スプロール氏が伝える洞察から学ばされ、メッセージのこの部分を準備するのにとても助けられました。

「[1] さて、人は妻エバを知った。彼女は身ごもってカインを産み、「私は主によって男の子を得た」と言った。[2] 彼女はさらに弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となった。[3] 日がたって、カインは土地の実りを供え物として主のもとに持って来た。[4] アベルもまた、羊の初子、その中でも肥えた羊を持って来た。主はアベルとその供え物に目を留められたが、[5] カインとその供え物には目を留められなかった。カインは激しく怒って顔を伏せた。」(創世記 4:1-5)

この部分を読み、自問すべき質問は「なぜ主はアベルとその供え物には目を留められるのに、カインとその供え物には目を留められなかったのか」ということです。

多くはこのことを、アベルが献げた物、つまりその内容がより価値ある動物だったからだと結論づけます。旧約聖書で供え物を献げる時に求められたものが通常子羊だったからです。しかし、例外もあります。例えば子羊を買って献げる余裕がない場合には、鳩を献げることが許されていました。マリアとヨセフが初めてイエスを神殿で拝謁させた時にはそうしました。二人は二羽の鳩を献げました。(ルカ2:22-24)また、神から与えられた律法のどこにも、動物の初子の供え物が農作物の初穂の供え物よりもそれ自体がもっと喜ばれ、受け入れられるとは書かれていません。

では、カインとアベル、それぞれの供え物の違いはどこにあったのでしょうか。その違いは「どのような心の態度で供え物をしたのか 」にあるのではないでしょうか。

故R.C.スプロール氏はこう書きます。「その(供え物自体の)違いは、2つのいけにえに対する神の反応の違いとは全く関係がない。マルティン・ルターは次のように言っており、私もそうだと思います。アベルが木の実の殻を供え物として献げたとしても、カインが献げた供え物よりも神に喜ばれただろう。それはアベルが「何を 」献げたかではなく、「どのように 」献げたかが違いを生んだからです。」

「[4b] 主はアベルとその供え物に目を留められたが、[5a] カインとその供え物には目を留められなかった。」(創世記 4:4b-5a)

これらの節から、主は供え物だけではなく、供え物をする人、すなわち供え物を携える人のことも見ていることに気付くべきです。このことも、ここに表れる違いを理解する上で非常に重要です。献げる人がいなければ、供え物は生まれません。主は何よりもまず、その人を見ておられます。聖書では、人を形造るものはその人の心であると言っています。つまり自分の心が、その人の思い、その人が何を好むのか、その人の意思といった、本当の自分、内なる自分を表しているのです。

アベルが供え物に目を留めてもらえたのは、彼の心の態度のせいだったのです。アベルは自分自身を献げ、携えた供え物を謙虚に、神に全面的に頼って献げたのです。

しかし、私はカインの心が神の前に正しくなかったのだと信じています。なぜそう言えるのでしょうか。今日の聖書箇所を読むと、まずカインが長子であることがわかります。もうその当時、長子は次子に比べて家族内の地位でより素晴らしいとされていました。また、カインの仕事は長子に与えられるもので、より高い地位の職業でした。カインは作物の世話をする農夫でした。アベルの仕事の重要度は低いものでした。アベルも農夫でしたが、動物の世話をしました。そして社会から全く尊敬されない羊飼いでした。

長子として、それ自体は悪くはないのですが、カインは神よりも自分自身に自信を持っていました。カインは神よりも、家族的、そして社会的な自分の地位を頼っていました。カインの地位はカインの偶像となりました。外面的には神を礼拝していますが、内面的には自分自身という別の神を礼拝していたのです。

新約聖書は実際、アベルがアベルの供え物を携えて神に近づいた様子にスポットライトを当てています。

「[4] 信仰によって、アベルはカインにまさるいけにえを神に献げ、それにより正しい者であると認められました。神がその供え物を認められたからです。アベルは死にましたが、信仰によって今も語っています。」(ヘブライ人への手紙 11:4)

この節には「信仰」という言葉が3回出てきます。これがアベルをカインと違う存在にしている所でもあります。この最初の供え物は、キリストが来られる数千年も前のことであるにもかかわらず、アベルは、両親が罪を犯した直後に受けた神の約束を固く信じて、すでにその日を待ち望んでいたのです。

「[14] 神である主は、蛇に向かって言われた。『このようなことをしたお前はあらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で最も呪われる。お前は這いずり回り生涯にわたって塵を食べることになる。[15] お前と女、お前の子孫と女の子孫との間に私は敵意を置く。彼はお前の頭を砕き、お前は彼のかかとを砕く。」(創世記 3:14, 15)

この約束における「女の子孫」とは、神の御子イエス・キリストに他なりません。アダムとエバがこの約束を息子達に伝えなかったとは思えません。アベルはその約束に頼りましたが、カインは残念ながら信じようとはしませんでした。カインはただ宗教的儀式を果たしただけで、献げることを心から行っていませんでした。

今日、まさにこの瞬間、あなたは神に何を献げますか。神は、御子イエスへのあなたの信仰が表れた、神にすっかり頼り切ったあなたの心を望んでおられます。

3. 礼拝の成果

「47 神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。」(使徒言行録 2:47)

キリストを信じる者達が大小様々なミニストリーを行う時に「神を賛美し、民衆全体から好意を寄せられます」。結果として人数も増えます。どのようにでしょうか。主が「救われる人々を日々仲間に加えてくださる」のです。

礼拝は、神の御名を心を込めて一生懸命賛美する人が行う神のミッションを通して、多くの人の救いにつながるものなのです。つまり、礼拝の成果は、新たな礼拝者として加えられる人達からの、より多くの人による、より多くの礼拝ということなのです。

先にお伝えしましたように、2ヶ月後の次のメッセージでは、成長する教会に不可欠なこと、福音を伝えること、すなわち伝道について、さらに詳しくお話ししたいと思います。

では、今日の原則を実践する方法をいくつかご紹介します。

(1)クリスチャンとなり、神を礼拝する者となる可能性のある若い学生がもっといたらいいなと思いますか。ぜひ5月15日(木)8:30am-1:30pmの玉聖インターナショナル・デイに参加してください。
(2)クリスチャンとなり、神を礼拝する者となる可能性のある大人がもっといたらいいなと思いますか。5月23日(金)～25日(日)10:00am～7:00pm、フラワーアレンジ発表会とJOYカフェのアウトリーチに参加しませんか。
(3)ミャンマーでより多くの人が福音に触れられ、クリスチャンとなり、神を礼拝する者となったらいいなと思いますか。ぜひミャンマー地震救援支援基金に献げてください。3月28日の地震で大きな被害を受けた方々のための寄付を受け付けています。

これらのことについての詳細は、直接私に聞いていただくか、メール(joel@tokyobaptist.org)を送ってください。

References:
- The Holy Bible, Christian Standard Bible
- The Holy Bible, New King James Version
- How Then Shall We Worship?, R.C. Sproul
- https://www.biblestudytools.com/lexicons/greek/nas/aineo.html

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1525jp

★クラス 210
スモールグループについて学ぼう
4月13日(日)1pm - 5pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 301
賜物発見クラス
4月19日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101/201 を修了した教会員

全クラス申し込み: https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu